

二本松と日本の国のおもなできごと

時代	区分	西 暦	年 号	二本松のおもなできごと	日本の国のおもなできごと(西暦)
大むかし		きげんぜん 紀元前 7500年頃		○安達太良山の麓 <small>ふもと</small> に人々が住むようになる。	○けものや魚をとる生活をしていた。 ○土器 <small>どき</small> や石器 <small>せっき</small> を使って生活していた。 ○大陸から米作りが伝わってきた。 ○はたおりや漢字 <small>かんじ</small> が伝わってきた。
	貴族の世の中	奈良	718	ようろう 養老 2	○陸奥 <small>むつ</small> の国がわかれて、いわせ・いわきの国ができる。
良		780	ほうき 宝亀 11	○万葉集 <small>まんようしゅう</small> に「あだたら」の名が見られる。	
平安		906	えんぎ 延喜 5	○安積郡 <small>あさかぐん</small> よりわかれて、「安達郡」ができる。 ○馬 <small>うま</small> や絹 <small>ぬい</small> の産物が見られる。	○京都に都がうつされる。(794) ○源頼朝 <small>みなもとのよりとも</small> が鎌倉幕府 <small>かまくらばくふ</small> を開く。(1192)
武士の世の中	鎌倉				○足利尊氏 <small>あしかがたかうじ</small> が室町幕府 <small>むろまち</small> を開く。
	室町	1340	こうこく 興国 元	○畠山高国 <small>はたけやまたかくに</small> が奥州探題 <small>おうしゅうたんたい</small> として塩沢田 <small>しおざわでん</small> 地ヶ岡 <small>ちがおか</small> に館 <small>やかた</small> をたてる。	○足利尊氏 <small>あしかがたかうじ</small> が室町幕府 <small>むろまち</small> を開く。(1336)
		1413	おうえい 応永 20	○畠山国詮 <small>くにあきら</small> が奥州探題 <small>おうしゅうたんたい</small> として霧ヶ城 <small>きりぎさき</small> を築き二本松に入る。	
	安土桃山	1586	てんしやう 天正 14	○霧ヶ城 <small>きりぎさき</small> が落城 <small>らくじやう</small> する。	
		1590	てんしやう 天正 18	○蒲生氏郷 <small>がもうじきやう</small> が二本松を支配する。 ○土地調べが行われる。	○豊臣秀吉 <small>とよとみひでよし</small> が天下 <small>てんか</small> を治める。(1590)
		1637	かんえい 寛永 14	○阿武隈川 <small>あぶくま</small> が大洪水 <small>だいかうずい</small> となり、流れが変わる。	○徳川家康 <small>とくがわいえやす</small> が江戸幕府 <small>えどばくふ</small> を開く。(1603)
	江	1642	かんえい 寛永 19	○冷害 <small>だいきげさく</small> のため大凶作 <small>だいきげさく</small> 、重い税のため死者 <small>しやうじや</small> がでる。	
		1643	かんえい 寛永 20	○丹波光重 <small>にわみつげ</small> が白河 <small>しろがわ</small> より二本松にうつる。(十万石) ○霞ヶ城改築 <small>かいちく</small> 、城下町 <small>じやうかまち</small> の町割りができる。	
戸	1694	げんろく 元禄 7	○二合田用水 <small>にごうたようすい</small> ができあがる。		
	1749	かんえん 寛延 2	○戒石銘碑 <small>かいせきめいひ</small> ができあがる。		
	1770	めいわ 明和 7	○殿様 <small>とのさま</small> に税金 <small>ぜいきん</small> を納めた人は、名刺 <small>めいし</small> をもらい、刀 <small>やいば</small> をさすことを許される。	○天明 <small>てんめい</small> の大ききんが日本全体をおそい、特に東北地方 <small>ひがひ</small> が大きな被害 <small>ひがひ</small> を受ける。	